

町のうごき

本籍数	4,643
本籍人口	14,934
世帯数	3,608 (3,604)
住民登録人	13,786 (13,758)
内 男女	6,674 7,112

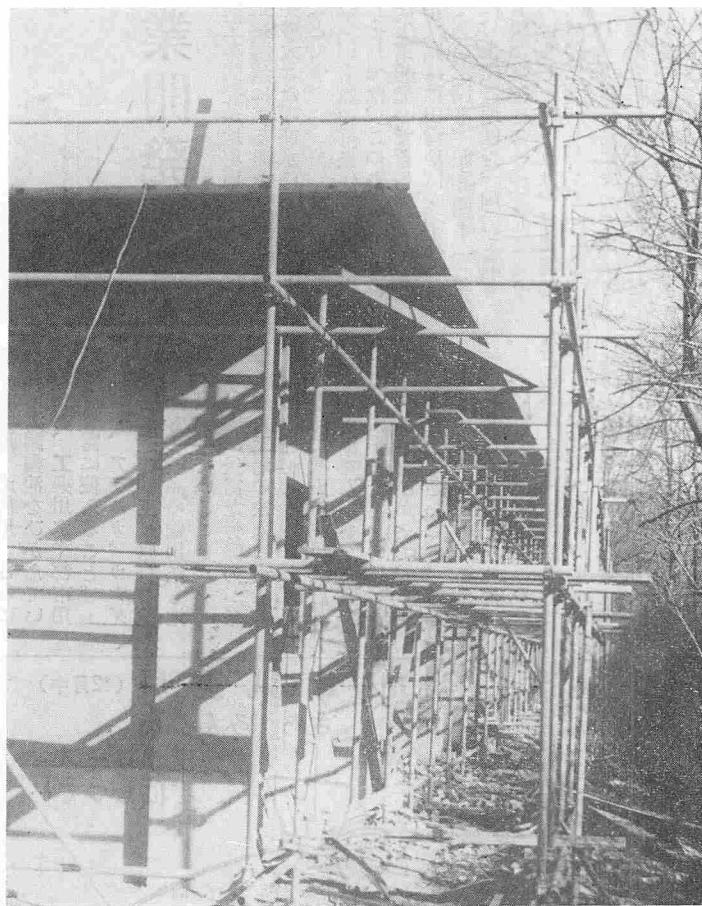
11月1日現在
() 内は10月1日現在

広報 てんのう

No. 109

昭和47年

12月1日発行



▲25日完成を目指して急ピッチで工事が進められている

追分長沼に0歳三歳未満児の乳児保育所がまもなく完成。四十八年四月から開設する運びとなつた。

この保育所は、鉄筋コンクリート造り平家建てで、八月十一日から大木建設(株)の手によって工事が進められており、今月二十五日に完成の予定。経済の高度成長に伴い、若い夫婦の共かせぎ世帯が増え、三歳未満児を保育する施設が必要となり、新築している訳

だが、いままでは、建設するにしても都市部だけに限られていたが、今年度からは、町村部も建設することができることになりました。県内町村では初めてのケース。

同保育所の面積は五百五六十坪で、この中には、0歳児ベット室、0歳児ほふく室、一歳児ベット室、二歳児保育室の他、調理室、事務室など全部で十一室。また、乳児の健康を保持するため、四季を通じ

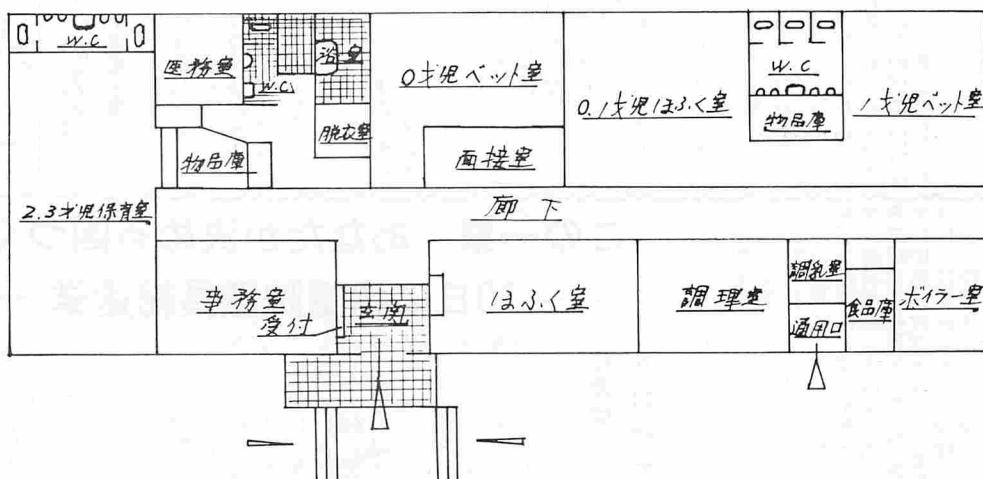
冷暖房も完備

完成間近!

乳児保育所

来年度から開設

完成予定図



臨時町議会

46年度決算を認定

固資評価委員も決まる

一道の特別会計の決算を認定され、四十七年度一般会計補正予算案、固定資産評価審査委員の選任案を原案どおり可決。四十六年度の一般会計、国保、水道の特別会計の決算を認定され、四月四日閉会した。今回、一般会計に追加されたものは、蒲沼地区農道整備事業の工事請負費一百五十万円など

四百八万七千円。これで、四十七年度の歳入歳出総額は六億三百八十五万三千円となった。

佐々木、船木両氏が再任
任期満了に伴う固定資産評価委員会委員に、下出戸の佐々木吉太郎氏(61)と二田の船木助太郎氏(57)が再任され、両氏は、これで四期目をつとめることになる。

考え方

大規模工業開発

②

なぜ大規模工業開発でなければならぬのですか。またなぜ秋田湾地区を選んだのでしょうか。

◎内陸工業団地との関連

いま、自宅から通勤できる新しい職場づくりを目指して、県内の九ブロックに十カ所程度、内陸工業団地をつくる計画を進めています。この団地に、生産性が高く、しかも雇用力の大きい企業を入れたいと考えているのですが、これだけで県外に出る人々の大部分をひきとめることは、非常にむずかしいことです。

しかし、内陸工業団地の建設

と大規模工業開発を車の両輪のようにして進めれば、これがじゅうぶん可能になります。さらにもう一つ重要なことは、大規

模工業開発が地場産業の振興と企業誘致による県全体の工業開発の大きな呼び水になるということです。

◎全国有数の好条件

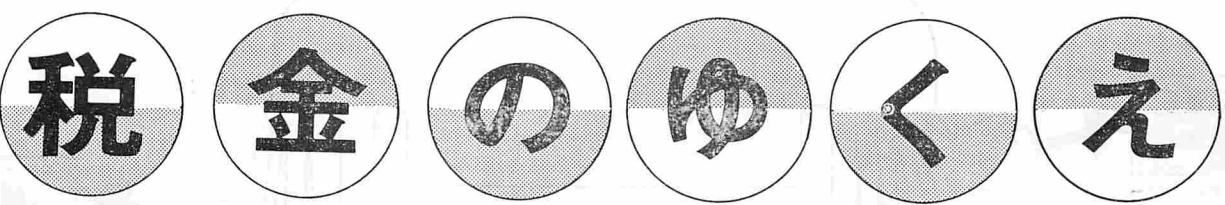
それでは、このような大規模な工業開発ができる場所はどこか。県は秋田湾地区を適地として選び、国も、昭和四十五年内陸工業団地をつくる計画を進めています。この団地に、生産性が高く、しかも雇用力の大きい企業を入れたいと考えているのですが、これだけで県外に出る人々の大部分をひきとめるこ

(1) 男鹿半島によって風がさやかで、台風も地震も津波も少なく、気候も比較的温暖であること。

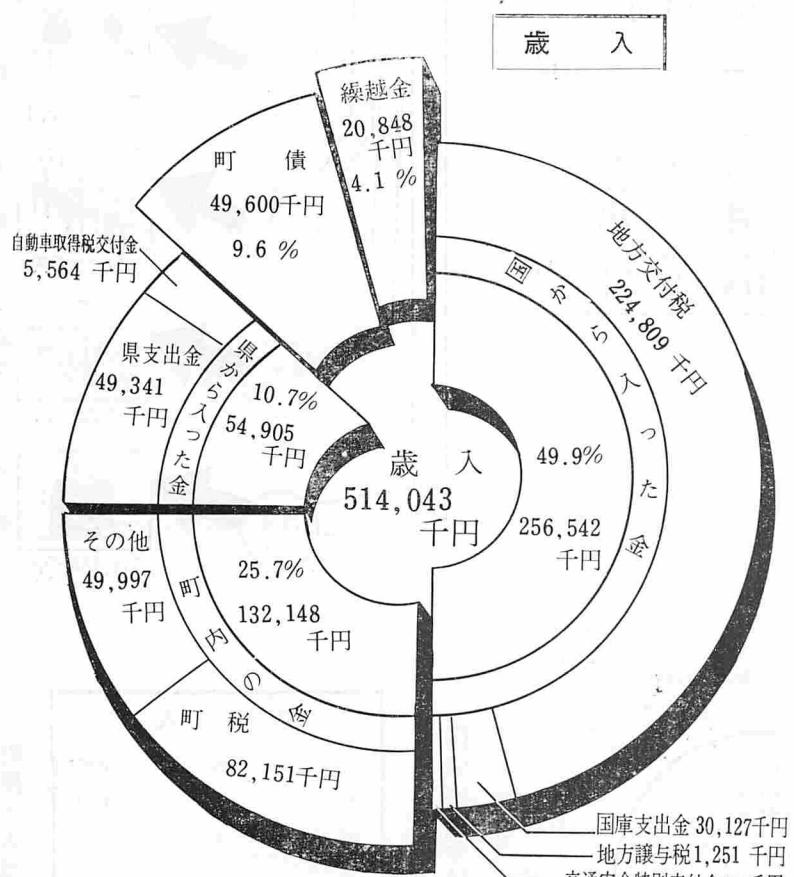
民具の紹介

介

と。



— 46 年 度 決 算 報 告 —



役場の収支も、みなさんの家庭と同じように、入る金と使う金の年間予算をつくりります。これを当初予算といつて、新年度（四月）から始めます。しかし、この金だけではやりくりはできません。そこで、追加予算がつくられます。

四十六年度一般会計当初予算額は三億四千六万一千円であったが、その後追加され、最終予算額は、歳入歳出それぞれ四億九千三百二十二万六千円となつた。

決算額では、歳入が五億一千

一 般 会 計

千四百四十三万八千円であるが、この中には、湖岸地区福祉センター建設用地造成工事費の一千万三千円が繰越明許費となつていてるので、実質収支（黒字）は、二千六百七十一万一千円となっている。

また、単年度黒字は五百八十万三千円となつていて、

念事業のひとつとして、防犯、街灯を新設。

▼北野地区農道整備舗装事業
大崎地区農道整備舗装事業
狐森～白洲野間、二千四百四十八m舗装に百九十八万五千円。

▼不動台～塙口北野間、千八百五十四m舗装に一千百四十五万円。

▼江川～不動台間、千九百四十四m舗装に一千七百六十七万円。

▼羽立地区農道整備舗装事業

松渕～羽立山間、千五百七m舗装に一千百三十三万円。
中羽立地区農道整備舗装事業
中羽立～不動台間、九百八十九基分に四百十八万五千円。
普通教室、特殊学級教室、特別教室などに一億円。

46 年 度

主な建設事業

それでは、納めたみなさんの税金や、県の補助金はどう使われたか、四十六年度の主な事業をひろってみよう。

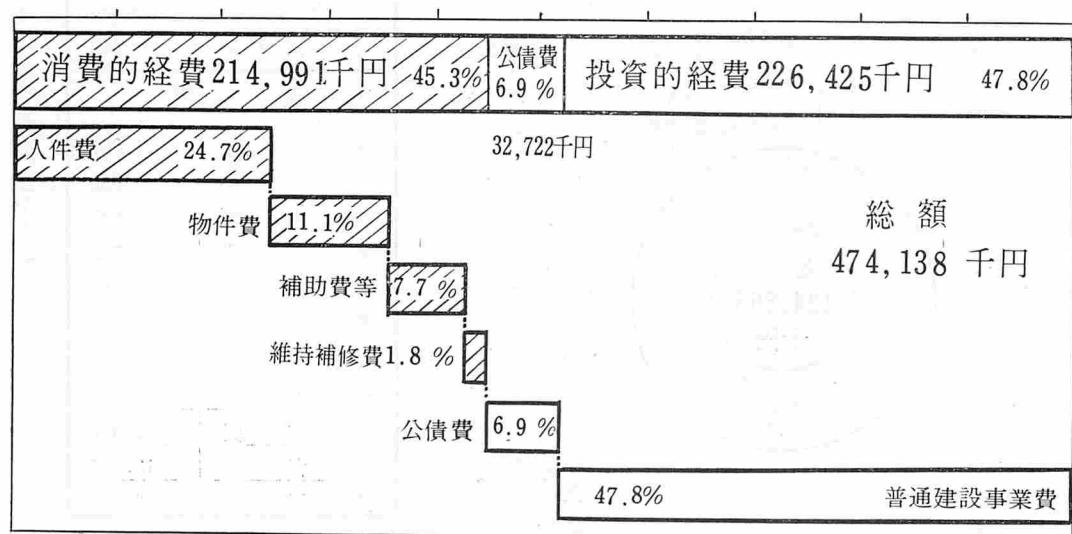
▼街灯新設工事二十周年記

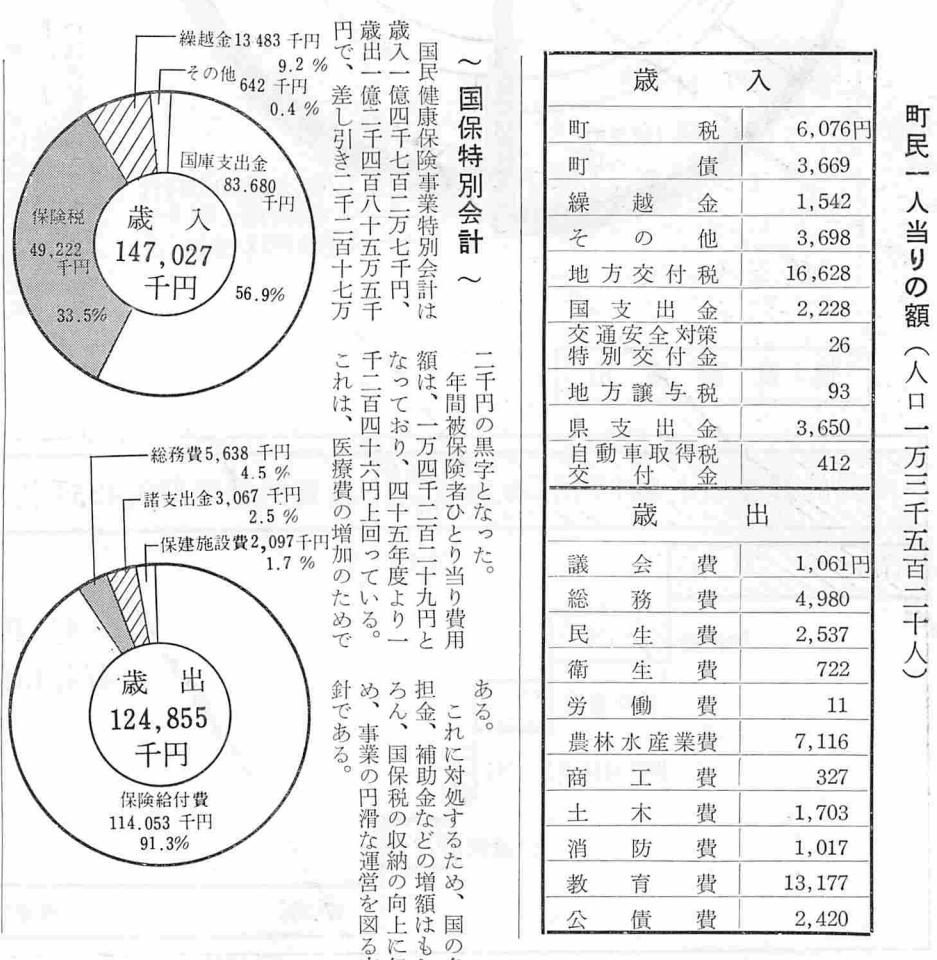
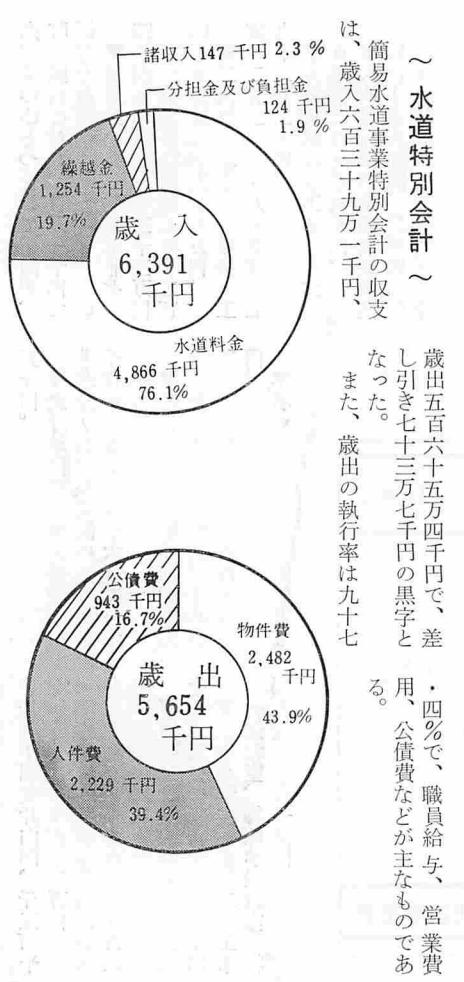
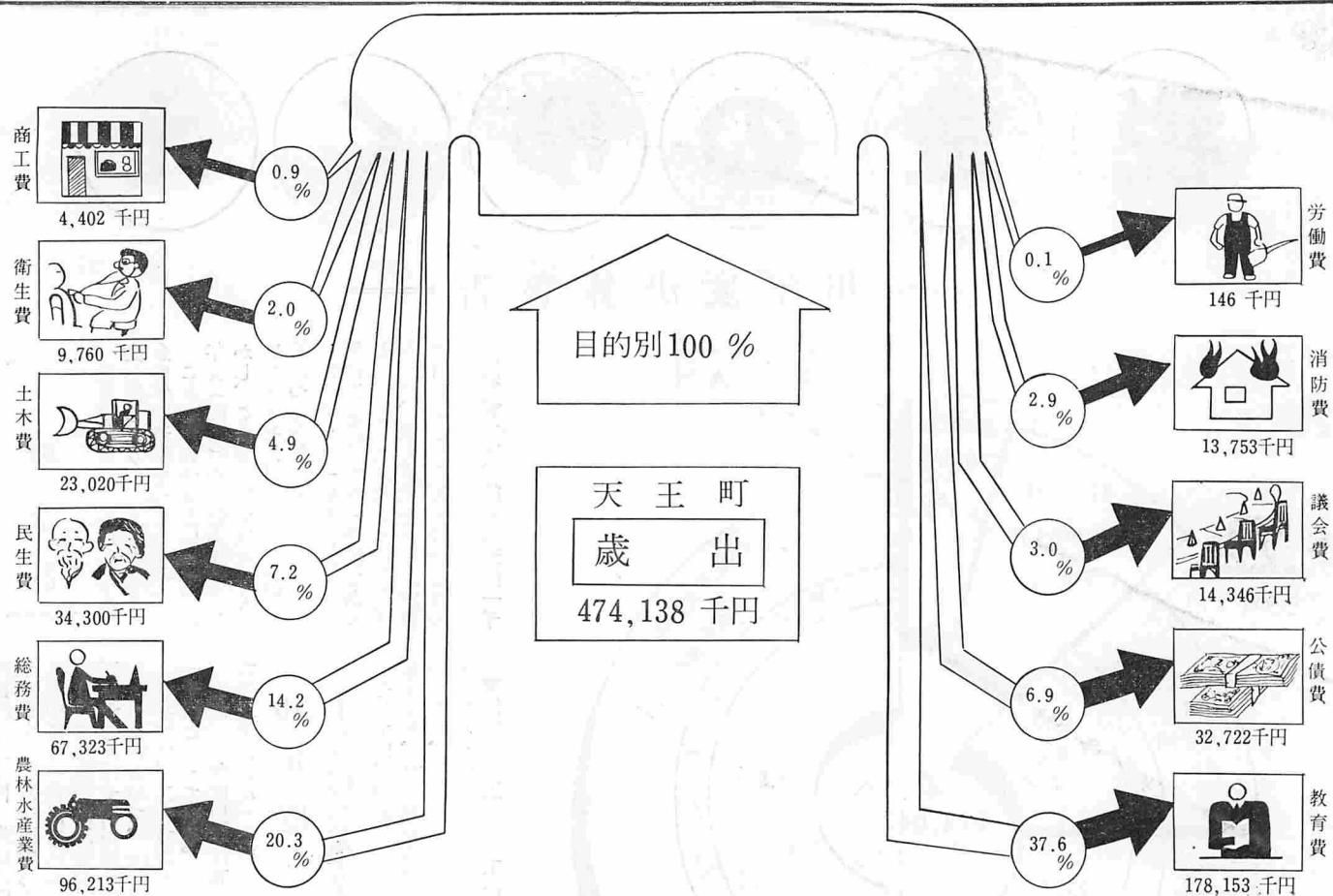
▼大崎道路舗装工事二百五十五m舗装に百九万七千円。
▼渋谷地区農道整備舗装事業
大崎地区農道整備舗装事業
狐森～白洲野間、二千四百四十八m舗装に八百五十二万八千円。

▼児玉地区農道整備舗装事業
江川～不動台間、千九百四十四mの路盤整備に一千七百六十七万円。

▼羽立地区農道整備舗装事業
松渕～羽立山間、千五百七m舗装に一千百三十三万円。
中羽立地区農道整備舗装事業
中羽立～不動台間、九百八十九基分に四百十八万五千円。
普通教室、特殊学級教室、特別教室などに一億円。

性 質 別 歲 出





国民年金

国民年金では、毎年のように年金額の引き上げが行なわれていますが、ことしも福祉年金の額が、十月分から大幅に引き上げられました。老齢福祉年金が、月額一千三百円から三千三百円に、母子福祉年金が二千九百円から四千三百円に、障害福祉年金が三千四百円から五千円になりました。

げられ、加算年金と合わせて「夫婦で五万円」年金の実現をめざそうとしています。

さらに、経済成長の激しい現在の世の中に合わせるために、年金額は物価の上昇に見合うよう増額していくよう検討することなどを述べています。しかししながら、高い年金をもらうためには、それに見合ったかけ金を納めることも当然である」と、かけ金の増額も必要だとしています。

年金委員

伊藤さんに表彰状

金は、すでに七月から十%引き上げられており、老齢年金については、国民年金のあり方を審議する「国民年金審議会」が、来年度から国民年金を改善しようと意見書をまとめました。

この意見書によると、昨年から支給の始まった十年年金や、昭和五十年から支給が開始される五年年金の年金額を一・五倍に引き上げようとしています。これが実現しますと、十年年金

は現在、月額五千円のものが一万二千五百円に、五年年金は月額二千五百円のものが六千一百五十円となります。また、二十五年間かけ金を納める本来の老齢年金の額は、倍額程度引き上

冬天入

伊藤さんは昭和四十二年以來、北野地区の国民年金委員として地区住民の国民年金に関する相談や、保険料の徴収に当たっています。集金という、あまり歓迎されない役割よりも、将来を心配するお年寄りの方々へ、常に笑顔で接してきました。

民具を大切に

なさんの中で、家の増改築の時、民具を発見したらどう

漬をう朋あたたかみて月の廻
陽の出まで固き道のり霜柱
野仮けのつむりしまなこ雪催
う
死火山の肩に日が落ち炉を開
く
除夜の韻人の心に棲みつきぬ

みなさんの中で、家の増改築などの時、民具を発見したらどんなものでも結構ですので、町公民館へ連絡してください。古くから使われていた民具を町公民館では、永く大切に保存します。

6日に無料相談所
人権困りごと

御 休	上 江 川	羽 立	二 田	上 沖 中 谷 地	下 出 戸	北 野	児 玉	羽 立	追 分	道 合	天 王	兒 玉
長 初 長 田 長 安 長 鈴 長 三 長 佐 長 菊 二 薄 二 菅 二 沼 二 金 二 菊 男 芝 女 中 男 田 女 木 女 浦 女 木 女 地 女 田 男 生 男 林 男 田 女 子 男 地 高 綠 由 慶 秀 秀 由 吉 忍 長 寿 郎 理 子 京 政 尚 隆 博 政 昭 英 英 剛 喜 一 夫 美 子 勝 昭 護 美 子 幸 三 郎	長 初 長 田 長 安 長 鈴 長 三 長 佐 長 菊 二 薄 二 菅 二 沼 二 金 二 菊 男 芝 女 中 男 田 女 木 女 浦 女 木 女 地 女 田 男 生 男 林 男 田 女 子 男 地 高 綠 由 慶 秀 秀 由 吉 忍 長 寿 郎 理 子 京 政 尚 隆 博 政 昭 英 英 剛 喜 一 夫 美 子 勝 昭 護 美 子 幸 三 郎											

上出戸出荷組合に
御休下江川立田上沖中谷地
長初長田長安長鈴長三長佐長菊二薄二菅長北二沼二金二菊
男芝女中男田女木女浦女木女地女田男生男林男田女子男地
高綠由慶秀秀由吉長榮金京政尚政昭英英武晃勝
美忍長寿理子光子広子博夫喜一
廣朗香一光治子秋郎子博夫喜一
天王玉兒玉兒追道合分立玉野戶出下地中谷中沖上田立江休御

慶弔だより

追天御休下王公

二人の前途を祝福します

蒲二二蒲下下二天長道不動追天天
召田田沼戶戶田王沼合下分王王

大長夏長小三真長藤長柳二加二柏二渋長村長鎌長三長桜二瀬長鎌長米三和長伊長沼長宮
友女井男玉男壁男原男川女谷女谷男谷女山男田女浦男庭女下男田男谷男田男藤女田女田
恭日大義淳道 義邦美悅千由順靖聖利誠隆友金 新真憲亞孝英市政一恒武美良聰睦
隆出學 隆智 剛緒希 貴子夫史文哉夫 男徳子郎昌夫二夫子昭一悦紀光 悅子雄也雄樹雄博春彦男子雄子男
長江二上 おくやみ 一人の前を
出秋上 江若不 江青塩上堵不本 秋上 秋追 秋棒下昭 秋天若塩山長矢羽秋上二秋 天羽天井
沼川田戸 田出田川 美動 森江玉動莊田沖 田分田沼出和田 美内島田江田 川
工申市戸市谷町台川川県口川県台市市谷市西市台戸町市王町口村沼町立市川田市王立王村
西伊千藤 地

井藤蒲重右衛門
テキクエ門
ミツコ
出沢鈴渢児児福米大石桜佐佐三上肥秋伊加秋鈴金千桜黒橋古西細田海藤金鉢柏半
タ
田地口石木谷玉玉井谷関坂庭藤木浦田野元藤谷山木子釜庭沢本鳴村井中沢原子木崎田
和文松敏千明る秀芳金秀哲美憲厚重裕将美カ武八浩まり五ミ真珠省澄幸栄勝八正玲俊
鶴み池之矢真ツ重チ
子男子雄子美子則子一子之子助子男子義子子喜子司子郎子実子悟子雄子弘重輝子毅

◎オートバイを運転する人はヘルメットを着用

ハイを運転する人は
ヘルメットを着用しましょ

- 凍結時のスリップに注
- 自転車は左端を一列に